審判員の先生方へ　　　　　　　（第３７回福井県道場少年剣道大会）

本日はご多忙の中、審判の労をおとりいただき，誠にありがとうございます。一日よろしくお願いいいたします。

【暫定的な試合・審判の方法】

1　本日の試合は、全日本剣道連盟「剣道試合・審判規則、同細則」及び新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合・審判法に準じて行います。
試合時間は団体戦においては、小学生は２分３本勝負・中学生は２分３０秒分３本勝負とし、勝敗が決しない場合は引分けとします。
なお、勝者数、取得本数が同じの場合、任意の選手による代表者戦を行います。試合時間は２分（小中学生共通）１本勝負、時間内に勝敗が決しない場合は２分ずつ（小中共通）時間を区切って勝敗が決するまで延長戦を行います。
個人戦においては、小学生・中学生ともに３分３本勝負とし、時間内に勝負の決しないときは延長を２分行う。延長でも勝負の決しないときは判定により勝敗を決する。ただし、準決勝・決勝においては、時間内に勝敗が決しない場合は２分ずつ時間を区切って勝敗が決するまで延長戦を行います。
※延長戦は、延長３回でその場で深呼吸、更に延長３回で給水時間とることとする。
給水は自分のベンチに戻って面を外す。（３分間）以降はそれを繰り返す。

2　判定基準
判定基準は、「技能の優劣を優先し、次いで試合態度の良否に加え積極性及び姿勢態度も重視し総合的に判断」し判定をお願いします。

3　鍔競り合いに関しては、全日本剣道連盟の「新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合審判法」を準用ずる。
◎鍔迫り合いに気を取られ有効打突の見逃しのないように注意をお願いします。
◎鍔迫り合いでの一呼吸の目安はおよそ３秒です。
◎相手が鍔迫り合いを解消動作に入っている際に打った技は１本ではありません。
※反則を取る際、反則となる理由の説明をお願いします。その際、選手や観客がわかるようにジェスチャーなどを用いて説明をお願いします。

4　各部門の決勝戦の審判は、本部で審判員を指定させていただきます。

5　審判員は各自の審判旗を持参して使用してください。

6　審判員の関係しているチームの試合は、主審、副審を問わず、審判をしないでください。
団体戦、個人戦を問わず全国大会の予選ですので、自主的に審判主任に申し出てください。

7　応援については飛沫防止の観点からも拍手のみとする。試合場において過度な応援がみられる場合は指導してください。指導に従わない場合は大会本部に連絡してください。

8　控え席からなるべく離れないようお願いいたします。止む無く離れる場合は、審判主任の許可を受けてください。（審判順序の確認）

9　試合者、保護者の納得のゆく審判をお願いいたします。

　審判員も選手・観客から審判されています。剣道試合・審判規則、同細則、剣道試合・審判・運営の手引きを遵守して審判をお願いします。